

令和4年度 事業報告

高齢化が急速に進展する中、労働力人口の減少により、介護・育児等現役世代を支える分野の他、産業の各分野において人手不足が顕著となっています。

また、近年、人生百年と言われる中、高齢者が自ら培った知識や経験を生かし、多様な就労等をとおし、社会の支え手の一員として活躍することが求められています。このような現状において、シルバー人材センターの役割は、ますます重要になっております。

一方、高齢者雇用安定法の改正による定年の延長等の影響により、センターに新規入会する会員が減少傾向にあり、さらには会員の高齢化が進み適正な就業環境の確保が必要となっております。

また、近年の人手不足等の影響により、派遣事業を中心とした受注は増加しつつありますが、会員の健康や安全に配慮しつつ適正就業の範囲内での就業確保に努めていく必要があります。

このような状況の下、館山市シルバー人材センターとしては、シルバー事業に対する地域のニーズに応え、会員に対して、更なる就業機会の拡大を目指し、以下を主な重要事項に据えてシルバー事業の一層の推進に努めました。

《重点事項》

○ 法令遵守

法令等を遵守し、公正かつ適正な事業運営に努める。

○ 安全就業の徹底

高齢者に適した業務を確保し、重篤事故については無し、他の事故件数については前年度を下回るよう安全就業の確保に努める。

令和4年度の事業実施状況（派遣事業含む）

| | |
|--------|---------------|
| 受注件数 | 1, 197件 |
| 契約金額 | 75, 872, 979円 |
| 就業実人員 | 163人 |
| 就業延人員 | 13, 879人日 |
| 年度末会員数 | 186人 |
| 就業率 | 87.6% |

事業内容

I 就業機会確保事業

(1) 就業の開拓・確保

- ①会員の希望に応じて、臨時的且つ短期的な就業、その他軽易な業務の就業機会の開拓・確保に努めた。
- ア 当センター事業のPRに努め、新規就業機会の確保及び既存の仕事の持続・維持を図るとともに、派遣事業の拡大に努めた。
 - イ 事業所からの要望に積極的に対応し、派遣事業にも対応することにより、新たな就業機会の確保に努めた。
 - ウ 社会教育施設の管理や市役所の受付業務補助等の派遣事業の事務系職種及び女性会員向けの職種の開拓に努めた。
 - エ 高齢化、核家族化社会の進展により、高齢者家庭や空き家などの草刈、維持管理などの就業機会の確保を行った。

(2) 安全就業・適正就業の推進

安全で適正な就業を基本として下記活動を行った。

① 安全・適正就業推進委員会の開催

活動 ア 委員会の開催を年4回開催し、加えて、適正就業の推進の観点から、作業現場を年2回（安全パトロール）巡回し、安全で適正な就業を支援した。

②安全・適正就業推進員の活動

活動 ア 委員会の構成員である安全・適正就業推進員（1名）は事務局から選出して、事故等の原因の究明や、防止策等を検討し、安全対策に務めた。また、作業現場を巡回して安全で適正な就業を支援した。

③安全講習会の開催

活動 ア 経験豊富な会員が講師となり、入会者を対象に草刈の安全講習会を実施した。

イ 講習会は、安全・適正就業に関する「座学」と事故防止を徹底する「実技講習会」から構成した。

ウ 草刈講習会は、入会者の状況により、入会説明会の後、随時行った。

④安全実地講習会

活動 ア 経験豊富な会員が講師・指導者となって、初めて就業する会員に、就業現場で安全作業、事故防止策の指導を行った。

イ 草刈作業・剪定作業・草取り作業に係る安全実地講習会は、会員の入会状況、就業希望状況により実施した。

⑤適正就業の推進

ア シルバー人材センターの就業を巡っては、依然として法令順守に基づき適正就業の遵守の徹底が求められている。

このため、シルバー事業の契約にあたっては、適正な就業形態に見合った契約か。また、就業の機会確保に際しては、「請負」、「委託」として適正か、作業現場は危険がないか、といった点検・確認をし、高齢者に適した就業を推進した。

イ 就業形態に見合った請負、委託契約の締結が困難な場合は、契約の終了や派遣事業への切替えを行った。

ウ 継続的に請け負ってきた業務についても、就業者の加齢や環境の変化を再度確認し安全確保を重視した業務受注し、会員の安全が確保できない業務については受注を辞退した。

(3) 普及啓発事業の展開

センターの情報を発信し、活動に理解を深める。

① 地元日刊紙の活用

国の委託事業により近隣センターとともに会員増強のため広告の掲載を行った。

②ホームページの充実

ホームページのリニューアルを行いリアルタイムな情報提供を心掛けた。

② 独自チラシの活用

作製済みの独自チラシを活用し啓蒙を行った。

③ 会員増強の活動

若潮ホールで行う定期的な入会説明会に加えて、ハローワークと協力し、南房総市と共同で定期的に出張説明会を実施した。

II. 就業機会提供事業

就業機会を組織的に提供することで高年齢者の就業を支援し、上記の確保事業で開拓・確保した事業に会員が就業することで、高齢者福祉と地域活力の向上に寄与した。

III. 若潮ホール事業

引き続き関係行政機関から受託し、利用者から喜ばれる業務運営に努め、

教育文化の振興と向上に寄与した。

IV. 法人の運営

(1) 適正な事業管理

シルバー人材センター事業の予算執行については、適正な事業管理、法令順守が強く求められている。

法人税法上の非営利型法人の要件を引き続き満たすように、公認会計士等の外部専門家の指導・助言を得ながら適正な事務を執行した。

(2) 組織体制の強化と運営

組織が脆弱で小規模な法人運営、且つ、多種、多様にわたる通常業務の事務処理を、更に円滑に執行していくことに加え、将来において持続可能なシルバー人材センターのあるべき姿になるよう努めた。

新規就業機会の開拓を積極的に行い、受注額や件数の増減にこだわることなく、高齢化しつつある会員に適した就業機会を提供するとともに、事務局体制の強化を図り、効率的な業務運営、適正な事業管理に努めた。

また、理事会、安全適正就業推進委員会、安全講習会等との連携を図り、組織基盤と事業活動の一層の充実を図り、適正な法人運営に当たった。

更に、就業現場においては、各作業班の班長のもと、適正、且つ安全な就業、法令順守を遵守して、事故防止に努めた。

V. 会議の開催

センターの維持運営及び事業運営の執行に関して必要な会議を、次のとおり開催した。

1 定時総会

| | |
|------|---|
| 開催日 | 令和4年6月24日 |
| 開催場所 | 館山市若潮ホール 第2ホール |
| 報告事項 | 令和4年度 事業計画について 令和4年度 収支予算について 令和4年度 安全・適正就業推進計画について |
| 議決事項 | 議案第1号 令和3年度事業報告の承認 議案第2号 令和3年度決算の承認 議案第3号 役員を選任 |

本年度の総会についても、新型コロナウイルス感染拡大の予防のため、多くの会員の皆様には、書面決議により参加いただき当日の会場は最小限度の人数にて開催した。

2 理事会

第1回理事会

開催日 令和4年4月20日
議決事項 理事会議案第1号 会員の承認

第2回理事会

開催日 令和4年5月27日
議決事項 理事会議案第2号 会員の承認
理事会議案第3号 令和3年度事業報告の承認
理事会議案第4号 令和3年度決算の承認
理事会議案第5号 令和4年度定時総会の招集の決定
理事会議案第6号 役員を選任

第3回理事会

開催日 令和4年6月15日
議決事項 理事会議案第7号 会員の承認

第4回理事会

開催日 令和4年6月24日
議決事項 理事会議案第8号 会長・副会長の互選

第5回理事会 (理事会議決の省略)

決議日 令和4年8月25日
議決事項 理事会議案第9号 会員の承認

第6回理事会 (理事会議決の省略)

決議日 令和4年9月29日
議決事項 理事会議案第10号 会員の承認

第7回理事会

開催日 令和4年10月19日
議決事項 理事会議案第11号 就業等取扱要綱の改正
理事会議案第12号 会員の承認

第8回理事会

開催日 令和4年12月21日
議決事項 理事会議案第13号 就業等取扱要綱の改正
理事会議案第14号 会員の承認

第9回理事会

開催日 令和5年2月15日
議決事項 理事会議案第15号 会員の承認

第10回理事会

開催日 令和5年3月22日
議決事項 理事会議案第16号 会員の承認
理事会議案第17号 令和4年度補正予算(補正1号)の承認
理事会議案第18号 財務規程の改正
理事会議案第19号 令和5年度事業計画の承認
理事会議案第20号 令和5年度収支予算の承認
理事会議案第21号 「社団法人賠償責任保険」の加入

3 監査

(1) 決算

開催日 令和4年5月25日
監査事項 令和3年度決算監査

(2) 中間

開催日 令和4年10月31日
監査項目 令和4年度中間会計監査